

市長 後継者問題は、どの産業でもありますが、特に酪農業と水産業では深刻な問題になっていますね。

石井さんの出身は東京とのことですが、どういう経緯で漁業に携わるようになったのですか？

石井 祖父が宗谷で漁師をやっていたのですが、父は後を継がず、東京の水産関係の商社に就職をし、そこで僕が生まれました。その後、父の独立を機に札幌へ移り、僕は24歳頃までスーパーの鮮魚部門で働いていました。

市長 魚とは縁が切れなかつたんですね。

石井 そうですね。そして祖父から誘われたのがきっかけで、現在は船頭として仕事をしています。後継者という形ではなくて、僕のように人を雇って行う漁業もあります。サケ定置漁業には少なくとも人手が7・8人必要になります。そういう所は毎年、人を集めることに苦労しています。特殊な仕事だからなのか、なかなか集まりません。

市長 私は稚内の基幹産業は一次産業だと考えています。

我がまちが何で成り立つ



尾崎 最近はお店の使い方などを提案して、街に人が集まる仕組みを積極的につくって行きたいと思いい、取り組んでいます。

しているかを小さい時から知ってもらい、一次産業の大切さを知り、興味を持つてもらうことが必要ですね。

石井 食育活動も行っている、サケの生態とか食べ方について小学生の前で講師をしています。その中で漁業についても触れています。

その時はとても関心を持ってくれますが、対象が小学校3・4年生なので、その時の感動がその後の学業の中で薄れていってしまうのではないかと思います。もっと漁業のアピールができればと考えています。子ども達の将来の夢に「漁業」が出てきてくれると嬉しいですね。

商業・観光業について

市長 尾崎さん、商店街の方はどうでしょうか？

は大事なので、最終的にはそこに繋がっていけばと考えています。まずは商店街に人が来て、楽しく過ごしてもらうことを考えています。そうして、ついでに買い物をしてもらえれば、ありがたいですね。

市長 私は小さい頃に稚内駅前に住んでいました。

当時の賑やかさはよく知っていますので、今の駅前の寂しさは身をもって感じています。

現在、駅前再開発を行っています。建物が綺麗になったからと言って人が集まるわけではあり

ません。人の流れを作るために尾崎さん達にも協力をし

てもらい、様々な工夫をしてい



なければいけませんね。

観光についても、昭和60年代は観光客が100万人を超えて、更に上を目指そうと様々なことに取り組みました。当時は宿泊施設も少なく、古くて小さい所が多かった。で、どんな改善に取り組みました。

安田さん、最近の観光・宿泊業についてはどうでしょうか？

安田 うちのホテルでも3年前から大々的にリニューアルを行い、個人の旅行客を増やすための取り組みを行っています。しかし、まだ団体客やツアー客に頼らざるを得ない状況です。

稚内での観光の課題の一つに、交通の便がありません。お勧めしたい場所がたくさんあるのですが、距離が遠いのでなかなかタクシーやバスは料金や時間の問題がありますし、

レンタカーは家族での観光では利用する方が多いのですが、年配の方や若いカップルの方などは事故を気にして避ける傾向があるようです。

ツアー客に関しては現在、冬も常時来ていただいています。やはり稚内はタラバガニ、イクラといった「食」が魅力なようで、どの世代の方にも喜ばれています。

今後は、目の前にサハリンがあるので、ビザの問題等があるかと思いますが、サハリンに行けるツアーがあれば、もっと喜んでもらえるのではないかと

市長 2人以上であれば72時間以内はビザなしでサハリンに行くことができます。

そののですが、昨年初めてそれにチャレンジし、特に問題はありませんでした。サハリンには徐々に行きやすくなっています。今、サハリンへのフェリーは6月から9月の間で就航していますが、もっと期間を延ばして様々な時期に、稚内へ観光で来る人たちが利用でき、それを稚内の魅力に繋げていけるようにと考えています。

まちの賑わいについて

石井 観光の関係でイベントを色々やっていますよね。

ただ、商店街から商店街のお祭りといったように、それぞれの集まりでの開催なので、稚内の産業全体がひとつにまとまった大きなお祭りが開催できれば、観光の目玉にもなるのではないかと

思っています。

市長 みなと南極まつりが最初はそのような想いで始まったのだと思います。

石井さんが言うとおり、もっとまち全体で様々なものが入ってこれるお祭りを考えなくては駄目ですね。

尾崎 今年も食マルシェを開催するとの事です。

市長 まだ詳細は決定していませんが、イベント自体は予定しています。

会場は、北防波堤ドームの前を予定し現在、一帯を緑地整備しています。そこが完成すると、かなりの広さになるので、イ



ベントやお祭りには最適な場所になるかと思

います。

安田 お客さんに「どこでお祭りをやっているの？」とよく聞かれます。札幌だと「大通でやりますよ」などと言えらうに、稚内でも「どこで」と言える場所があればいいなと思います。

齊藤 まちの中に外でくつろげるような芝生の広場等があるといいですね。そこで近隣の農家の方達が集まる、ファーマーズマーケットのようなものもあると楽しいですね。地元の農産物や手芸品、木工品などがあり、その